

G 空間 EXPO2015 屋内位置情報サービス実証実験【参加募集】

特定非営利活動法人位置情報サービス研究機構(Lisra)

代表理事 河口 信夫(名古屋大学 教授)

1. はじめに

屋外での位置情報サービスは、測位衛星により様々な高度なサービスが実現され、活用されています。一方、屋内での位置情報サービスは、新たな測位技術が求められており、また、得られた位置や人の流れ情報の分析・活用についても十分な経験が蓄積されているとはいえません。NPO Lisra では、2014 年の G 空間 EXPO や、INTEROP2014 における WiFi ロケーション実験などの、様々な実証実験を行ってきました。このたび、G 空間 EXPO2015 においても、実証実験を以下のように企画します。ぜひご参加ください。

2. G 空間 EXPO2015 屋内位置情報サービス実証実験 (案)

G 空間 EXPO は、地理空間情報の活用に関する展示会であるため、そこで屋内位置情報サービスの実験を行うことには高い意義があると考えます。特に最先端の技術を組み合わせて、活用することが求められます。今回実施する実験・展示については、以下を予定しています。(詳細項目については、実行委員会にて策定)

A. 屋内測位・人流計測、及び実験用データ収集

- ・ WiFi による屋内測位
- ・ BLE Beacon による測位
- ・ LIDAR による人流計測

B. 屋内測位ヒートマップ/移動軌跡表示 (テーマ展示)

- ・ WiFi によるヒートマップ表示
- ・ WiFi/BLE による、移動軌跡表示 (事前登録 or 端末貸し出しを前提)
- ・ BLE による立ち寄りブース表示 → 立ち寄りブース情報提供

C. G 空間 EXPO アプリ (Android / iPhone)

- ・ 会場マップの提示、自己位置の表示
- ・ 展示情報の提供
- ・ 行動センシング情報の取得(移動軌跡の記録)

3. 実施予算について

本実験の実施予算に限りがあるため、実験参加団体から実験参加費用を徴収します。金額については、研究機関・大学 5 万円、民間企業 10 万円を予定しています。この費用については、NPO 法人位置情報サービス研究機構においてとりまとめます。また、費用の対価として、実証実験で取得したデータや実験結果の報告書を提供します。

4. 実験申込み締め切り

10月8日を実験参加団体の締め切りとします。収集されたデータは、実験参加団体間のみで共有します。収集されたデータは、了承された範囲で学会発表や事業利用は可能です。

(希望者は gexpo2015@lisra.jp までご連絡ください)

以上